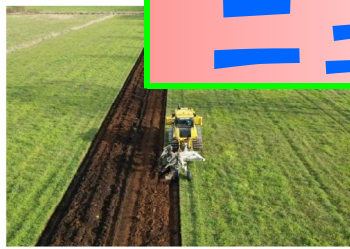


▼ 公社HP

<https://www.adhokkaido.or.jp/>



# 農業公社 ニュース



(第15号)

新しい年がスタートして、早1か月が経過しました。

年が明けてから、道内では強烈な寒波や大雪に見舞われ、また、新型コロナウイルス感染症に加えインフルエンザの流行が心配されるなど、極めて厳しい農業情勢の中であって、気の休まらない日々が続いております。

「農業公社ニュース」の第15号をお届けいたします。

## ■ 令和4年度第2回臨時理事会を開催

さる1月19日、今年度2回目となる臨時理事会を開催いたしました。

当公社では、通常理事会を3か月ごとに開催しているほか、例年1月に事業計画の変更や次年度事業に係る諸手続きを行うため、臨時理事会を開催しています。

開会挨拶で小田原理事長からは、長引く感染症の流行、ロシアのウクライナ侵攻による国際情勢の激変のもと、農業分野においても生乳などの需給が緩和し、急激な円安の進行も加わり、飼料などの生産資材価格が高騰するなど、特に酪農が大変厳しい経営環境が続いていることについて、強く懸念を示しました。

こうした中、昨年12月に政府が決定した「食料安全保障強化政策大綱」に基づき、必要な検討が加速化されていく流れにあります。当公社が担う「人と農地」の構造政策は、食料の安全保障・安定供給の基本となるもので、今後さらに重要性が増すものと考えている。計画的かつ継続的な事業推進が重要であることを改めて認識している」との力強い表明がありました。

また、今年の4月から、農地流動化政策の仕組みが大きく変わり、当公社の役割が拡大することから、「関係機関・団体、そして地域の皆さまとしっかり連携しながら、丁寧に進めてまいりたい」との発言があり、さらに、策定中の第4次中期経営方針（R5～7年度）について、「農業情勢が急激に変化する中、当公社が本道農業・農村の発展に一層の役割を發揮できるよう策定してまいりたい」との考えを述べました。

議事については、「令和4年度事業の進捗や収支見通し」、「第4次中期経営方針の素案」のほか、「令和5年度国費予算概算決定・4年度補正予算に係る公社関連の事業概要」、「人・農地など関連施策の見直し」などについて報告を行い、理事・監事から熱心な質疑等が出されるとともに、決議事項である「令和4年度事業計画の変更や収支予算の補正」のほか、「令和5年度の事業計画大綱」、「令和5年度事業の一部執行」などについて審議が行われ、全会一致で承認されました。

農業をめぐる近年例のない厳しい情勢は、当公社の経営にも目に見える形で影響を及ぼしていますが、年度末に向けて、一層の収支改善に取り組んでいくこととしています。



▲ 第2回臨時理事会の様子

【総務部】

## ■ 遠軽町白滝の江面さん、新篠津村の福尾さんに最優秀賞！ ～ 新規就農優良農業経営者表彰、3年ぶりに表彰式を開催 ～

道内各地の優良経営を築き上げた新規就農を表彰する「新規就農優良農業経営者表彰」ですが、令和4年度は2組が最優秀賞となり、昨年12月15日に3年ぶりとなる表彰式（会場：ホテルポルスター札幌）を開催しました。

遠軽町白滝の「江面暁人さん・陽子さんご夫妻」は、北広島市出身、東京で結婚を機に就農を決意して北海道へ移住、農業法人での研修を経た後、農業経営継承事業を活用して平成24年に就農。特産“白滝じゃが”などの希少品種、小麦、スイートコーン等を作付け、農協のほか食品メーカーや通信販売などの販路を確保。さらに、地域の農業振興と情報発信のための民宿・レストラン経営、農業ボランティア受入れなど幅広く展開しています。営農については地域の平均収量を大きく上回り、所得率も34%と、模範的な経営を行っていることなどが評価されました。

新篠津村の「福尾拓さん・綾さんご夫妻」は、札幌市出身、海外青年協力隊への憧れから、東京農業大へ進学後、農業を極めるため、故郷の近くのオーガニック農業法人に就職し、有機大根の生産・販売を習得した後に平成26年に独立就農。現在保有する農地は全て有機JAS認証となっており、収穫期には1日千本の大根を出荷するほか、学校給食や直販所への販路も確保し、にんじんの栽培も手がけています。

有機農業のメッカ・新篠津村で、村のクリーン農産物生産協議会副会長などを務めるほか、農福連携にも取り組むなど若手農家のリーダー的存在として活躍している点などが評価されました。

表彰式では、両組とも、宮本副理事長から表彰状を授与され、謝辞ではこれまでの周囲の支えに対する感謝やこれからの抱負について、力強く語っていただきました。

ぜひ、後に続く方々への「道しるべ」となって下さるようお願いいたします。  
受賞おめでとうございました！！



▲ 表彰式（令和4年12月15日開催）の様子



◀▲ 江面さんご家族



◀▲ 福尾さんご家族

【担い手支援部】

## ■ 令和4年度第2回「北海道新規就農フェア」開催！

～ 3月4日 ホテルポールスター札幌で ～

本年度2回目となる「北海道新規就農フェア」を来たる3月4日（土）にホテルポールスター札幌で開催します。47地域のブース出展を予定しています。

前回（令和4年6月）は約2年ぶりの開催ということもあって、来場者が200人を超える大盛況となりました。

今回も、出展者・相談者ともに満足いただけるよう、告知や準備に懸命に取り組んでいるところです。

ホームページでのお知らせや、JR及び札幌市営地下鉄の車内広告を約2

週間前から実施するほか、2月25日（土）にはHBCテレビ「あぐり王国北海道 NEXT」（17:00～17:30）の番組内でフェアの告知を行います。  
 よろしくお祈いします！

▼ 当公社ホームページ

<https://www.adhokkaido.or.jp/ninaite/info/2023/01/34.html>



▲ 過去の新規就農フェアの開催状況 ▲

【担い手支援部】

## ■ 「新たな農地施策全道研修会」を全道5ブロックで開催中

高齢化や人口減少が本格化する中、農業経営を行う人の確保と農地の適切な利用促進などを目的とした農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律が本年4月から施行されることとなっており、国においては政省令の改正や基本要綱等案の公表が行われており、道段階においても道の基本方針の一部改訂など、関係機関が連携を図りながら各般の対応を進めています。

こうした取組を道内関係者に広く周知する研修会を2/1から全道5ブロックで開催（主催：北海道）しており、当公社も（一社）北海道農業会議とともに協賛の上、しっかりと説明を行ってまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

開催日	時間	会場
令和5年(2023年) 2月1日(水)	10:00~16:00	芽室町 めむろーど セミナーホール 住所 芽室町本通り1丁目19 TEL 0155-62-2339 定員 約300名
2月6日(月)	10:00~16:00	旭川市 旭川市民文化会館 大会議室 住所 旭川市7条通9丁目 TEL 0166-25-7331 定員 約180名
2月8日(水)	10:00~16:00	網走市 オホーツク総合振興局 講堂 住所 網走市北7条西3丁目 TEL 0152-41-0603 定員 約150名
2月10日(金)	10:00~16:00	札幌市 かでる2・7 大会議室 住所 札幌市中央区北2条西7丁目 TEL 011-204-9827 定員 約200名
2月13日(月)	10:00~16:00	七飯町 七飯町文化センター 小ホール 住所 亀田郡七飯町本町6丁目1番2号 TEL 0138-66-2066 定員 約300名

◀ 開催スケジュール

【農用地部】

## ■ 「北海道高度情報化農業研究会」の活動のご紹介

北海道高度情報化農業研究会は、「北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進及びその健全な普及を図ること」を目的に活動を行っており、令和4年度の活動状況及び予定は、以下のとおりとなっています。

- 令和4年 7月19日 第18期 第1回運営委員会
- 12月14日 第2回運営委員会
- 令和5年 3月 8日 第18期 通常総会

来たる3月8日（水）には「北海道高度情報化農業研究会 スマート農業セミナー」を開催いたしますので、参加をご希望の方は、以下に記載の「申込案内」に沿ってお申し込み願います。

### 北海道高度情報化農業研究会 スマート農業セミナー

～ スマート農業の普及と教育を担う人材を育成 ～

【開催趣旨】 北海道農業は広大な農地を活用し、大規模で専門的な土地利用型農業を中心に生産性の高い農業が展開されております。本道は国内の「食」の安定供給に向け多様な農業が進められているが、新型コロナウイルスの感染拡大など、食料供給が脅かされる世界情勢の中で食料安全保障対策を強化する必要があります。一方で、担い手の減少と高齢化が進む中で国内生産を維持向上させるためにロボット技術やICT等の活用が積極的に進められており、これら先進技術を広く普及させるために現場実装の推進とともに、ICTを使いこなす人材の育成が重要となっております。本セミナーを通して、地域のIT化による「心豊かな暮らし」と「持続可能な環境・社会・経済」を目指すべき将来について共有する。是非多くの皆様のご参加をお待ちしております。

【日時】：2023年3月8日（水）13:45～17:00（Zoomウェビナー 開場13:30）

【開場】：札幌駅前ビジネススペース ルーム2A 会場定員50名+オンライン定員300名（Zoomウェビナー）  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23 第2北海道通信ビル2階（1階に郵便局のあるビル）

【募集範囲】：個人会員及び賛助会員（農業セミナーは会員以外の方も参加できます）

【参加費】：無料（事前申込必要）

【申込案内】：次のアドレスに掲載のWebフォームよりお申込み下さい。

<https://h-sangakukan.jp/events/3930>

【プログラム】 全体テーマ「スマート農業の普及と教育を担う人材を育成」

13:45～13:55 開会挨拶

北海道高度情報化農業研究会

会長 おだわらてるかず  
小田原輝和 氏



14:00～14:40 基調講演

北海道大学 北方生物圏フィールド科学センター

教授 ほしのよういちろう  
星野洋一郎 氏



14:40～15:00 事例紹介

北海道 農政部 生産振興局 技術普及課

主幹 まえの ひろゆき  
前野 宏之 氏



15:00～15:20 事例紹介

株式会社クボタ KESG推進部 北海道ボールパーク推進課

あべ まさひこ  
安部 昌彦 氏



15:20～15:40 事例紹介

ホクレン農業総合研究所 営農支援センター

じちよう しみず たまさ  
次長 清水 環 氏



16:00～16:15 質疑応答

（ 休憩 10分 ）



16:25～16:55 パネルディスカッション

コーディネーター：株式会社ズコーシャ 総合科学研究所 所長 にわ ゆづひこ  
丹羽 勝久 氏  
パネリスト： 星野洋一郎 氏 ・ 前野宏之 氏 ・ 安部昌彦 氏 ・ 清水 環 氏



17:00 閉会

【主催】：北海道高度情報化農業研究会

【後援】：北海道庁 ・ ホクレン農業協同組合連合会

一般社団法人北海道産学官研究フォーラム ・ 産学官CIM・GIS研究会

【連絡先】：北海道高度情報化農業研究会 事務局長 尾居清一 e-mail: [oi@adhokkaido.or.jp](mailto:oi@adhokkaido.or.jp)

060-0005札幌市中央区北5条西6-1 公益財団法人 北海道農業公社 農村施設部

TEL:011-241-5701 FAX:011-271-3776

【農村施設部】

## ■ 令和4年度乳肉用牛貸付事業が間もなく終了！

畜産部が実施している乳肉用牛貸付事業について、令和4年度事業の実施期間が間もなく終了（＝3月上旬まで導入可能）となります。ただし、事業計画申請等の手続きが必要となりますので、残された時間はあとわずかです。

導入を希望される農家の方々は、早急に地元農協を通じて申込みをお願いいたします。事業の内容は、以下のとおりです。

※ ちなみに、この事業は令和5年度も引き続き実施しますので、令和5年度における事業参加も大歓迎です。事業参加希望調査は、2月～3月頃実施予定です。

### 【連絡先】

北海道農業公社 畜産部（直通☎011-241-5761）（fax☎011-271-3776）

🐄 乳牛担当：濱田（ハマダ） 🐄 肉牛担当：昆（コン）

### 公社牛貸付事業（乳用牛）

- ・ 補助金 ～ 無（非補助事業です）
- ・ 導入牛 ～ ホルスタイン種で10か月以上の育成牛、18か月以上の成牛
- ・ 貸付期間 ～ 5年以内
- ・ 譲渡代金 ～ 購入価格と同額
- ・ 管理料 ～ 事業経費として毎年購入価格の1.2%
- ・ 導入期間 ～ 4月中旬から令和5年2月末まで（令和4年度事業）
- ・ 導入頭数 ～ 上限はありませんが、年間200頭の導入を予定

### 優良肉用牛貸付事業（肉用牛）

- ・ 補助金 ～ 有（要件により各4万円、5万円、6万円、9万円のいずれかとなります）
- ・ 導入牛 ～ 黒毛和種・褐毛和種・日本短角種で6か月以上12か月未満の子牛、または48か月未満の成牛
- ・ 導入要件 ～ 導入牛の父又は母の育種価と、対象種雄牛があります
- ・ 貸付期間 ～ 6年以内
- ・ 譲渡代金 ～ 購入価格＋借入金利息相当額－補助金
- ・ 管理料 ～ 事業経費として毎年定額3,500円（税抜）
- ・ 導入期間 ～ 5月から令和5年3月初旬まで（令和4年度事業）
- ・ 導入頭数 ～ 上限はありませんが、年間350頭の導入を予定

【畜産部】

## ■ 冬期の労働災害・交通事故の未然防止に取組中

牧草地や耕作地などの開発整備で使用した農業開発機械は、冬期間に公社機械センターで点検・整備を行うことから、整備の際の事故防止に取り組んでいます。また、北海道警察の交通安全情報を当公社内の掲示板に掲載して、冬型交通事故防止にも努めています。

### 冬期整備事故防止

- ★整備前 整備対象機械のエンジン停止などの十分な安全確認
- ★整備中 整備手順の遵守と専用工具などの適切な使用
- ★整備後 試運転時の他整備員への合図と安全な始動操作



※感染症対策として、公社機械センターの建屋内におけるマスク着用、定期的な換気・消毒なども併せて実施

冬型交通事故防止

「スリップさせない運転」を

**アクセル  
急なブレーキ  
ハンドル操作**

➡

はスリップを誘発

対向車線へのはみ出しによる正面衝突や  
路外転落などの重大な交通事故に  
つながるおそれあり

**交差点事故に注意**

冬期間中は道路脇に雪山ができて見通しが悪くなります。雪山で見通しの悪い交差点付近では自分から見えても相手からは見えていない場合もあり、交差点付近は滑りやすくなるため、交差点では安全確認と早めのブレーキが大切です。

**ホワイトアウト！要注意**

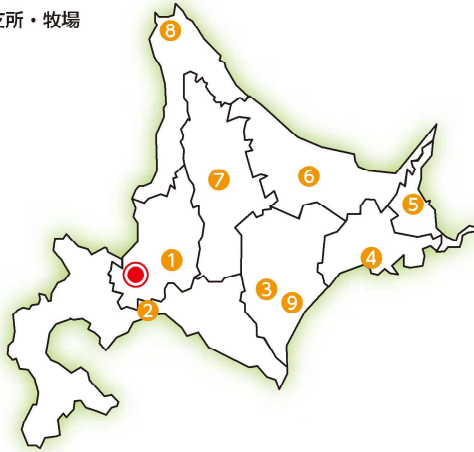
吹雪による視界不良の中での運転は大変危険です。冬道での運転は「天候・路面状況に合った運転」に努めるとともに、目的地までの気象情報などを確認しましょう。

【統括労働安全衛生委員会】

## 公益財団法人 北海道農業公社

### 本所・支所・牧場所在地

● 本所    ①～⑨ 支所・牧場



#### 本所

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番地 23  
TEL. 011-241-7551 (代表) FAX. 011-271-3776  
<https://www.adhokkaido.or.jp>



<b>監査室</b> TEL. 011-241-7557	<b>総務部</b> TEL. 011-241-7551	<b>担い手支援部</b> TEL. 011-271-2255
<b>農業経営相談室</b> TEL. 011-522-5579	<b>農用地部</b> TEL. 011-241-5751	<b>農村施設部</b> TEL. 011-241-5701
<b>農場整備部</b> TEL. 011-241-7554	<b>畜産部</b> TEL. 011-241-5761	<b>統括労働安全衛生委員会</b> TEL. 011-241-7557

### 支所・牧場

#### ① 岩見沢支所 (旧道央支所)

〒068-0025 岩見沢市5条西5丁目2番地1 空知農業会館  
TEL. 0126-23-2178 FAX. 0126-23-4260

#### ② 苫小牧支所 (旧日胆支所)

〒053-0021 苫小牧市若草町5丁目5番3号 日胆農業会館  
TEL. 0144-32-8171 FAX. 0144-32-3215

#### ③ 帯広支所 (旧十勝支所)

〒080-0013 帯広市西3条南7丁目14番地 農協連ビル  
TEL. 0155-24-0254 FAX. 0155-24-0261

#### ④ 釧路支所

〒085-0018 釧路市黒金町12丁目10番地 釧路農業会館  
TEL. 0154-22-1538 FAX. 0154-25-4798

#### ⑤ 中標津支所 (旧根室支所)

〒086-1006 標津郡中標津町東6条南1丁目2番地 根室農業会館  
TEL. 0153-72-3296 FAX. 0153-73-2080

#### ⑥ 北見支所

〒090-8650 北見市とん田東町617番地 農業管理センター  
TEL. 0157-25-2826 FAX. 0157-25-9188

#### ⑦ 旭川支所 (旧上川支所)

〒070-0030 旭川市宮下通4丁目2番5号 JA 上川ビル  
TEL. 0166-25-2613 FAX. 0166-26-3464

#### ⑧ 稚内支所 (旧道北支所)

〒097-0001 稚内市末広4丁目2番31号 宗谷農業会館  
TEL. 0162-33-3321 FAX. 0162-33-7339

#### ⑨ 十勝育成牧場

〒089-2261 広尾郡人樹町字尾田708番地  
TEL. 01558-7-5121 FAX. 01558-7-5159

※道南支所は令和4年3月31日をもって日胆支所と統合し併せて4月1日より日胆支所を含む6支所の名称を所在地名に変更しました